

■第5次垂水市総合計画基本構想（素案）に対する意見確認一覧

■第1部—第3章 社会経済環境の変化（時代の潮流）

No	頁	意見	意見種別	意見要旨／取り扱い等
1	5	<p>1 人口減少と少子・高齢化の進行</p> <p>超高齢化社会が進行し、地域の奉仕作業等にも影響が出始めております。出産による人口増は期待できません。今後は、若い世代の定住者への支援の充実、特に移住者に対する支援策の拡充を図り、移住しやすい環境づくりが必要です。</p> <p>老々介護をはじめ、待機高齢者・買い物弱者・老々見守り等の高齢者に対する言葉は尽きません。今後、5年～10年後のことを考えると想像もつかないほど深刻な状況です。</p> <p>支援の必要な高齢者を、地域の元気な高齢者が支え合い・支援する体制づくりも重要な課題です。</p>	意見	<p>【参考資料】</p> <p>鹿児島県推計人口より 年報(年齢別人口等)</p>
2	7	<p>2 安全・安心に対する意識の高まり</p> <p>地球温暖化の影響で、全国各地で短時間豪雨災害も発生しております。土砂災害発生危険箇所は各地区に点在しております。事前防災対策の推進も重要な課題です。</p> <p>また、防災・防犯は、行政と民間との連携強化が不可欠です。自主防災組織・防犯パトロール隊と緊密な連携を図り、安心・安全なまちづくりを構築していただきたい。</p>	意見	—
3	10	<p>5 訪日外国人旅行者の急激な増加</p> <p>今後益々、外国人旅行者は増加すると予測されております。特に韓国、中国の観光客に対応できる通訳の確保も必要です。</p>	意見	<p>【参考】</p> <p>インドネシア教育旅行受入校数：5校/195名（H28年度実績）</p>

■第1部—第4章 次代に引き継ぐ「垂水らしさ」次代へつくる「垂水らしさ」

No	頁	意見	意見種別	意見要旨／取り扱い等
4	21	<p>(7) 交通体系 乗合タクシー制度は、全国的に注目され特に地方の過疎地域において、今後さらに広まってくる制度であるが、垂水市はいち早く導入し運用していることを記載してはどうか。</p>	提案	<p>基本構想（素案）の修正作業の検討中</p> <p>【参考】 乗合タクシー制度は、平成21年12月1日から開始されております。この制度は、県内では瀬戸内町、徳之島に続き、3番目（本土では初）に開始されております。</p>
5	27 28	<p>(9) 財政状況 自主財源では、義務的経費も賄うこともできない状況ですが、義務的経費のうち人件費に占める割合は何%か開示してください。 これからは、職員一人ひとりが民間企業並みのコスト意識を持ち、知恵を出し合い、自主財源確保に向けて努力してほしい。</p>	要望	基本構想（素案）の修正作業の検討中
6	31	<p>(10) 地域振興計画によるまちづくり 2行目「大野地区をかわきりに、各地区と行政がともに知恵を出し合い策定しているものです。」の後に、「ちなみに最初に取り組んだ大野地区は、平成28年度農林水産祭 むらづくり部門において内閣総理大臣賞を受賞するなど、この地域振興計画を地域づくりの柱として活用し、むらづくりを進めています。」などと言った趣旨の文言を付け加えてはどうか。</p>	提案	<p>基本構想（素案）の修正作業の検討中</p> <p>【参考】 現行の第4次垂水市総合計画期間中に、地域拠点において、地域づくりの考え方や地域の将来像を盛り込んだ地域振興計画を定め、地域の特性を生かしたまちづくりを地域住民が自ら進めていくことに取り組んできました。この地域振興計画をもとにした取組が、地域が自立する（地域産品のブランド化推進⇒稼ぐ力を持つ⇒地域の持続可能性につながる）取組として、全国でも国からの高い評価を受けています。</p>
7	31	<p>(10) 地域振興計画によるまちづくり 地域振興計画によるまちづくりは、大変良い政策であった、地域によっては、地域の活性化、地域住民の憩いの場所となり、体力の維持向上や健康長寿を延ばすことにも役立っている。 今後は、貴重な財源が無駄な出費にならないよう、費用対効果も検証することも必要である。</p>	意見	—

■第1部—第4章 次代に引き継ぐ「垂水らしさ」次代へつくる「垂水らしさ」

No	頁	意見	意見種別	意見要旨／取り扱い等
8	33 39	2 市民から見た垂水市（公開講座、中学生向けアンケート結果から） 市民をはじめ、中・高校生まで公開講座やアンケートの中には、貴重な意見・要望が数多くあります。 このような貴重な意見・要望は、第5次垂水市総合計画に反映していただき、若い世代が魅力を感じられるまちづくりや、市民がいつまでも垂水で暮らし続けたいまちづくりに取り組んでいただきたい。	意見	—
9	33	①医療・介護体制の充実 サブテーマ① 今、自分たちがすべきことは？ 自分たちがすべきこと？が問いなので、人材確保や施設など自分たちがすべきこととは違う内容については、分けて記述したほうがわかりやすい。 なお、人材確保は意味が分かりにくいので、「担い手確保」のほうが良いのではないか。	提案	ご指摘に対し、基本構想（素案）を修正したものを、公開講座の講師に確認いただき、10月15日開催予定のフォローアップ公開講座にて意見を伺い、修正作業を進めていきます。
10	33	①医療・介護体制の充実 サブテーマ② 今、自分以外（家族、友達、市、国）に望むことは？ サブテーマ①と同様、「望むこと」として表現を統一してはどうか。 また、情報発信と記載されているが、望んでいることは情報提供であると考え。	提案	No6と同じ回答
11	33	①医療・介護体制の充実 サブテーマ③ 未来の人たちのために、今、自分たちができることは？ 全体として、単語しか並んでおらず、意味が分からないので、具体的に記載すべきではないか。	意見	No6と同じ回答

■第1部—第4章 次代に引き継ぐ「垂水らしさ」次代へつくる「垂水らしさ」

No	頁	意見	意見種別	意見要旨／取り扱い等
12	34	<p>②働く環境の充実 サブテーマ① 担い手（今住んでいる若者（中学生））育成について サブテーマ② 担い手（Iターン者、Uターン者）育成について</p> <p>発言内容の分類の仕方が良くない考える。つまり、趣旨を上手く汲み取ったキーワードになっていないが問題ではないかと思う。</p>	意見	No6と同じ回答
13	34	<p>②働く環境の充実 サブテーマ③ 消費者（地元の人）ニーズへの対応について</p> <p>少し細かいが、注文制度よりも宅配制度が良いのではないか。</p>	意見	No6と同じ回答
14	34	<p>②働く環境の充実 サブテーマ③ 消費者（観光客）ニーズへの対応について</p> <p>少し分かりづらいので、表現の工夫に努めてほしい。</p>	要望	No6と同じ回答
15	35	<p>③子育て支援策（全般）</p> <p>子育て支援の公開講座まとめについては、全般的に講座で出された意見のポイントが分かるように記載方法に工夫してほしい。</p>	要望	No6と同じ回答

■第1部—第4章 次代に引き継ぐ「垂水らしさ」次代へつくる「垂水らしさ」

No	頁	意見	意見種別	意見要旨／取り扱い等
16	35	<p>③ 子育て支援策 サブテーマ① 『育てほしい子どもの姿』と現実の子育てとのギャップをどう埋めたらいいだろうか？（成長に応じた備えの観点から）</p> <p>サブテーマ①のまとめで、「交通費補助」や「外来機能のみの病院」といった記載は具体的すぎて唐突に感じるので、変更したほうがよい。なお、「子育て中のお母さん・・・」は「子育て中の親」に変更したほうがよいのではないかと。</p> <p>また、「企業誘致」は児童手当と関連してのことなのか、よく分からなかった。同様に、「掃除・洗濯・給食サービス」がなぜ出てきたのか、子育て支援とどうつながるのかよく分からなかったため、削除が変更したほうがよいのではないかと。</p>	提案	No6と同じ回答
17	35	<p>③ 子育て支援策 サブテーマ② 『育てほしい子どもの姿』と現実の子育てとのギャップをどう埋めたらいいだろうか？（親の仕事・生活の観点から）</p> <p>サブテーマ②は、他グループと同様に文章で記載するほうがよいのではないかと。</p>	提案	No6と同じ回答
18	35	<p>③ 子育て支援策 サブテーマ③ 『育てほしい子どもの姿』と現実の子育てとのギャップをどう埋めたらいいだろうか？（学校教育の観点から）</p> <p>サブテーマ③は、キーワードが未設定だが他グループと統一化する必要があるのではないかと。</p>	提案	No6と同じ回答

■第1部—第4章 次代に引き継ぐ「垂水らしさ」次代へつくる「垂水らしさ」

No	頁	意見	意見種別	意見要旨／取り扱い等
19	35	<p>③ 子育て支援策 サブテーマ④ 『育てほしい子どもの姿』と現実の子育てとのギャップをどう埋めたらいいだろうか？（地域づくりの観点から）</p> <p>サブテーマ④は、まとめよりキーワードのほうが具体的な記載となっているので調整できないか。</p>	提案	No6と同じ回答
20	35	<p>③ 子育て支援策 サブテーマ⑤ 『育てほしい子どもの姿』と現実の子育てとのギャップをどう埋めたらいいだろうか？（健やかなからだづくりの観点から）</p> <p>サブテーマ⑤の、「子供食堂」を「子ども食堂」に変更してはどうか。</p>	提案	No6と同じ回答
21	40 42	<p>3 次代に引き継ぐ「垂水らしさ」次代へつくる「垂水らしさ」</p> <p>高校生・中学生の意見や要望については、「次代」を担う当事者の声として、特記できないか。</p>	提案	<p>今回の新たな計画の策定段階において、将来の垂水市を担う高校生や中学生にまちづくりを考えてもらい、出された意見を反省させることを目的に、高校生向け公開講座や中学生向けまちづくりアンケート調査を実施しました。</p> <p>基本構想（素案）では、公開講座等で出された意見を盛り込んでおりますが、今の若者がまちづくりについて、どのような意見や要望が出されているのかを、より分かりやすく特記して記載させていただきます。</p>

■第2部—第1章 将来像

No	頁	意見	意見種別	意見要旨／取り扱い等
22	43	<p>[まちの将来像]</p> <p>「九つの彩り・・・」という将来像の基本理念の「九」は9つの地域拠点に起因すると思われるが、基本構想に9つの柱を上げるなど「九」にこだわってみてもいいと思います。「九つの彩り」が非常に魅力ある表現であるだけに、地区の数だけでは何となく物足りなさを感じます。</p>	提案	<p>確かに、「九つの彩り」は、現在の地域振興計画に基づく地域づくりの取組を表現したものとなっています。</p> <p>また同時に、市内9つの地区の豊かな自然・文化・食等を有した本市の魅力を表現しています。</p> <p>そこで、新たなまちづくりにおいても、この9地区の地域づくりを進めていく中で、産業振興や健康長寿、人口減少対策に積極的に取り組んでいく必要があります。</p> <p>従いまして、ご提案については、基本計画策定時での反映に努めます。</p>

■第2部—第2章 まちづくりの視点

No	頁	意見	意見種別	意見要旨／取り扱い等
23	44	<p>【次世代人材育成】地域“愛”を育みます</p> <p>子ども主体的に育つイメージが弱いと感じた。今回は、高校生と中学生を一市民として位置づけ意見を聞いているので、ぜひ、その視点をキーワードとして入れていただきたいと考える。</p> <p>アンケート等では、一方で商業施設など受け身の消費文化を求めているが、他方で、スポーツや遊び場を通して活躍したいという思いが現れていると感じた。地域愛や誇りは教えられるものではなく、子どもが生きがいをもって生活や仕事をする中で育つものであるので、「やりがいを見つける」、「地域で活躍できる」といった言葉を入れてはどうかと思う。</p>	要望	基本構想（素案）の修正作業の検討中
24	44	<p>【次世代人材育成】地域“愛”を育みます</p> <p>次世代人材育成ですが、中高生へのアンケートで垂水市への永住希望者が11.5%しかいないという現実にあまり触れられていないが、非常に大きな問題である。永住希望者を少しでも増やす手立てを反映していただきたい。</p>	要望	<p>基本計画策定時において検討作業を進めます。</p> <p>【参考】 ご指摘のとおり、垂水市が『好き』が8割以上となっている一方で、永住意向については、『住み続けたい』の割合が5割以下となっています。 若年層の定住促進を進めるためには、若い世代が活躍できる場づくりや若い世代が暮らしやすいと感じてもらうことが重要となります。 今後、若年層向けの定住移住対策を進めていき、垂水市への『好き』という思いと、『住み続けたい』という思いの差が解消できるように、取り組んでいきます。</p>

■第2部—第3章 まちづくりの目標

No	頁	意見	意見種別	意見要旨／取り扱い等
25	45	<p>[人口の推移と将来展望]</p> <p>図表の人口減少対策を講じなかった場合のパターン0（2060年に人口5,761人）は驚愕の事実であり、市民にも、この数字を知ってもらい危機意識を共有させるように、もう少し大きく取り上げてはどうか。それにより、この第5次垂水市総合計画の必要性がより強調されるのではないか。</p>	提案	<p>基本計画策定時において検討作業を進めます。</p> <p>【参考】 現在、本市では人口減少問題を最重要課題と位置づけ、地方創生に取り組んでいます。 この地方創生の取組は、基本計画の中で人口減少対策に向けた政策を検討していきます。</p>
26	46	<p>■独自推計（パターン4）達成のための条件</p> <p>垂水市人口ビジョンで採用している独自推計（パターン4）の達成のための条件だが、②の2031年（H43）より、毎年25組の若手子育て世代の移入は、正直大変ハードルの高い条件なので、具体的な対策を別記でもいいので、出来れば記載してほしい。 そして、勿論、その目標達成のための取組を強化していかなければならないと思う。</p>	要望	No1と同じ回答
27	46	<p>■独自推計（パターン4）達成のための条件</p> <p>基本計画での議論かもしれないが、独自推計（パターン4）の達成は非常にハードルが高いと思うが、それを実現できるまちづくりの進め方になっているだろうか。</p>	意見	No1と同じ回答

■第2部—第3章 まちづくりの目標

No	頁	意見	意見種別	意見要旨／取り扱い等
28	47	<p>2 まちづくりの各分野の目標（全般）</p> <p>まちづくりの目標①・②・③・④の全てにおいて、自分たちのまちはどういうまちなのかということを知り、学ぶ、教育することが大事だと思う。（我がまちの成り立ち、人口、産業、歴史など）</p> <p>私の小さい頃は、社会科の付属資料で「私たちの垂水市」という冊子があったように思うが今もあるのでしょうか。是非、そのような冊子を作成し、インターネットでも見られるような形を検討してほしい。</p>	要望	<p>ご指摘のとおり、小さい頃から垂水市の現状を知ってもらうことが大切と考えており、現在も「ふるさと垂水」の冊子を市内小学校へ配布し、社会科の教材資料として活用されています。</p> <p>また、より一層、市内外の方々へ本市を知ってもらうためのホームページ等での情報発信に努めていきます。</p>
29	47	<p>2 まちづくりの各分野の目標</p> <p>①地域資源を活かした賑わいのあるまち（産業振興）</p> <p>産業振興は当たり前の目標で、そのために、働く環境基盤づくり整備（生活環境整備）や、若者の声を聴きながらの働く場づくりが課題に上がりました。産業振興に直接つながらないかもしれませんが、垂水の暮らしにとけこむためには、地域一体の取り組みが必要なのかもしれません。なぜなら、講座で、地元のリーダーのために注文・宅配サービスや交通支援を行う必要性が出されています。</p> <p>公開講座だけで目標設定をするのではないと思いますが、あまり公開講座の意見が反映されていないように感じます。</p>	意見	<p>ご指摘を踏まえ、10月15日開催予定のフォローアップ公開講座にて意見を伺いながら、修正作業を進めていきます。</p>
30	47	<p>2 まちづくりの各分野の目標</p> <p>②次世代の担い手を育成・支援するまち（教育文化）</p> <p>「次世代を担う人材」を育てる立場にあることを表現していることは良いが、それに加えて、関わり方に濃淡があることを承知の上で、一体に関わる（育てる）と表現としてはどうか。</p> <p>また、地域の伝統文化には、教育力があるからこそ大切にしないということをつけ加えてはどうか。</p> <p>さらに、産み育てる環境づくりだけでなく、地域の理解が得られることも追記してはどうか。</p>	提案	No 5 と同じ回答

■第2部—第3章 まちづくりの目標

No	頁	意見	意見種別	意見要旨／取り扱い等
31	47	<p>2 まちづくりの各分野の目標 ③安心していきいきと暮らせるまち（健康・福祉）</p> <p>「地域が一体となって安全な環境を築き」の記載内容は少し違うのではないか。「健康づくりに向けた体制を整え」、または、「健康づくりのための環境を整え」のほうが良いのではないか。（体制や環境の中には、インフラ整備から参加のための場や機会、人材育成なども含まれまると考える。）</p>	提案	No5と同じ回答

■第2部—第4章 まちづくりの進め方

No	頁	意見	意見種別	意見要旨／取り扱い等
32	48	<p>まちづくりの進め方（全般）</p> <p>一般的に言えることですが、この第5次垂水市総合計画をはじめ、様々な市の施策において、市民の皆さんが「役所の考えたことだろう」とか、「一部の市民や審議員が考えたことだろう」などといった他人事と考えるのではなく、自分たちのまちづくりなんだ！という当事者意識を持ってもらうため、広く市民の皆さんに周知を図る必要があると思うので、広報誌やFMラジオ、インターネットを活用して周知徹底に努めてほしい。</p>	要望	ご指摘のとおり、住民への周知徹底の工夫に努めていきます。
33	48	<p>まちづくりの進め方（全般）</p> <p>一般的に言えることですが、P9にある時代の潮流では、わが国のICTの飛躍的進歩として記載されているが、それに対する対応が見えてきていません。見守りや医療・福祉展開を考えても、高齢者こそICT化が必須だと思えます。</p>	意見	<p>基本計画策定時において検討作業を進めます。</p> <p>【回答】 近年の社会を取り巻くICTの飛躍的進歩のより、社会に無くてはならない存在となっており、今後益々、私たちを取り巻くICTの環境は、大きな役割を果たしていくことが予想されます。従いまして、こうしたICTを取り巻く社会の変化を踏まえ、基本計画の介護分野や教育分野等での検討していきます。</p>